

東シナ海の雲

宮之浦岳・開聞岳登頂記

その・1

通算山行NO 151S

年月日 99・04・29(木)～05・03(月)

山行名 会創立5周年記念国内S山行

山名 宮之浦岳(1935m)・開聞岳(922m)

参加者 後藤隆徳(52)・河合依代(52)・後藤歌子(55)・大根田元男(62)
来生博子(50)・高岡八千代(61)・山本勝巳(31)・加藤秀子(50)




はじめに

屋久島・宮之浦岳や利尻島・利尻岳は名山故に、どうしても一度は訪れてみたい山だ。しかし、本県からは非常に遠く、なかなか簡単には登れない山である。其れだけに夢は膨らみ、想像力をかき立てるには余りある山とも言える。会創立5周年記念山行国内S山行に相応しい山を考えた場合、普段取り組めず、特に魅力があり希望が多かった「屋久島・宮之浦岳と鹿児島・開聞岳」を決定した。

(後藤隆徳)

第1日目 記録・後藤歌子

4月29日(木) 静岡・晴れ 東京・雨 鹿児島・快晴

三島～～羽田～～鹿児島～～屋久島～安房「かもめ荘」泊
(06:20) (10:50) (15:20) (16:30)

出発の日がきた。天気も先ず良さそうである。三島駅に皆遅れる事なく集まり早速、新幹線の中で皆に心境を聞いてみる事にした。

CL・後藤隆徳(今回の山行でつけたセカンドネーム・アルコール隆徳=ヒコーキが怖いをいい事に飲みまくった。「歩恋うる(あるこうる)」とも書く。今回で千回登山まであと99回になった)

「未知の山」は、いろいろ想像力をかきたてられとても楽しい。又、歩荷

訓練等ふまえて8名の仲間と計画できた事は、とても嬉しい。近藤孝子さん残念だったが、山勝ちゃんを加え皆の力で成功させたい。

SL・大根田元男（公爵〔講釈〕元男＝常に紳士だが必ず解説がある）

屋久島、開聞岳への山行間の好天気が続いてくれる事を祈りつつ、屋久島の古木杉と嶺々の景観に思いを馳せ、胸を弾ませて出発する。

装備SL・山本勝己（シーラーカンス勝己＝深海魚の如く静か。喋らない）

羽田ロビー、久し振りに飛行機に乗るのでワクワクしています。

医療・高岡八千代（縄文杉八千代＝とにかく「悠久」を感じる存在感）

楽しみにしていた屋久島、やっと今日になる。期待とちょっと不安な気持。天気で歩き通したいナー～です。

山行計画・加藤秀子（ビッグホーン秀子＝元来声が大きく騒々しい。行動中しばしば奇声を発する）

1年前からの企画。長いようでアッという間で当日に、何事もなく、つつがなく無事に終わって欲しい。この日の為に歩荷もし、万全を期した山行。後は天気次第。飛行機に乗っての「未知の山」は、ネパール・ヒマラヤに続いて2回目となるが、何時の山も期待と冒険心で胸がワクワク高鳴る。今回の屋久島はどういう形で私を迎えてくれるでしょうか。乞うご期待！

食料・来生博子（日の出の博子＝日の出を共にする早起き雀で、ピーチクパーチクと、皆寝不足に陥った）

なかなか行けない屋久島へ向かう。でも蛭がいるという。・・・フクザツ。

食料・河合依代（カメレオン依代＝状況に対応する能力が卓越している）

嬉しさと、不安が混じった何とも言えない気持ちです。とにかく頑張りますので皆さんヨロシク！

会計・後藤歌子（ウルル歌子＝全山感激、感動、感涙の山でした）

楽しみにしていた屋久島行き。テント泊や、長時間の山歩き不安が一杯。皆に迷惑をかけないように頑張りたい。又、大いに楽しみたいと思っています。

【セカンドネームはCLが勝手につけました。悪しからず】



屋久島へJACは
流麗な開闢岳を
右下に見せて
飛ぶ



博覧会の出博の日 屋久島の29日

乗物の29日
まぶしい日でした



イッシー知ってるかい？
ボク。

てっかい種島が寝そべっている

当便は出発予定時間
を15分程遅れておりますが
.....



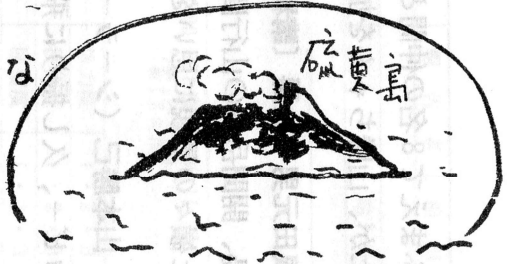
ねえ、その
キップだけ
大きいけど
なんで？

羽田から九州への
JASの中での
デキゴト



空からの
屋久島は緑が
とても豊だった
その中で桜の花
の様に白い木が
たくさんみえた
クバイの木が
花盛りだったのです

波は眠っている様な
大海原はまるで
鉛を溶かしたよう



この日は初めてモノレールに
乗りました。意外に振動があり
ました。

こんな食事でした

29夜 宿食
30朝 "
30昼 各自
5.2夜 宿食
3朝 "

5.3昼 宮浦町にて
7 新幹線内にて

* 割当の共同食の空きも自分持ち

<p>4/30 夜</p>	<p>鳥飯 ドライ各人1袋 あらびき各人2本ずつ ソセージ 味噌汁 生タイプ各人1袋 インスタント 乾麺・焼タマゴ ラーメン (茶)(漬物)(梅干)</p>	<p>反省。素直に作り通りにすれば良かった。ふやかした方が早いと思いきや効かしたつもりで8袋全部に水を注ぎ時間を置いた結果、あんなにでもなかなか芯がとれず食べるまで時間がかかった。 • でき上がったところ意外に美味しく全部たいた食当は片づけが楽だった。ラーメンを食べるとなく満腹してくれて満足。</p>
<p>5/1 朝</p>	<p>アルファ米白 2人分を4袋 牛丼か焼肉丼 各人どちらか (レトルト) 1袋 (りんご)(茶)(漬物)(梅干)</p>	<p>反省。今日は8時間行程という事で力をつける為と、軽荷にするという事で、朝からしつこくやったが、馴れない河合と後藤(歌)が割当分を食べられない。牛丼2袋とアルファ米1袋余る持って来た人は、続けて持ち歩く。 • 漬物とじゃこぶりかけて食べた人もある • 夜のうちに(朝早いので)アルファ米の袋をお湯を注ぐだけに準備した。• みんはきれいに食べてくれ本当に片づけが楽であった。</p>
<p>昼</p>	<p>各自で行動食用意</p>	<p>縄文形までよく喉が乾いた。0.47Lの私の水筒は2本欲しかった。背負い上げた大きな夏みかん4コのうち2コを分け合う。最高に美味!! 朝のデザート用のものだったが、こんな時こそなれ、みかんも幸せという物。ぐっと我慢して2コを8人で!!</p>
<p>夜</p>	<p>アルファ米赤飯 2人分を4袋 カルボナーラ(ドライ) 3袋 テリヤキチキン 各人1 (調理済真空パック) たまごスープ(ドライ) 各人1 (コシ)(茶)(ごま塩)(漬物)(うめ干)</p>	<p>反省。鳥肉が食べられない人にはテリヤキチキンは辛かった • 9時間歩いて食が進まず未使用食料が多く出た。(カルボナーラ全部、スープ6コ、チキン4コ) • みんな揃って登頂を祝い予定でささやかなから食当は赤飯を用意したが1袋半残。 • インスタントラーメンが良かった。残りのりんご2コが唯一生品。でも満腹(酒が足りないので)</p>
<p>5/2 朝</p>	<p>アルファ米白 2人分を4袋 せいたく汁 各1 ジャコぶりかけ きなこ餅(ドライ) 2袋 (ココア)(うめ干)(漬物)</p>	<p>作ったアルファ米と残りの赤飯で2袋半を味噌汁とうすの戻、塩・たまごスープで雑炊にする。お赤飯の雑炊もおつはもの。味が足りなければ、たまり漬とじゃこでかかむ。うめ干が美味い。朝のJJアはフイリチルドに浸って最高。きなこ餅は生木が危ういので未使用。なにかはんだか満腹だ。ひもじくない!</p>
<p>昼</p>	<p>各自で行動食用意</p>	<p>ぐっと我慢して残した2コの夏みかん、永田岳で喉を潤す。各人軽量荷に努めたため、光り輝く夏みかん。結果各人1コ持っても良かったかも知れない。 ◎自分の行動食は決して多くはなかったが大分残った。 ◎前日に削った共同食もまたまた考える余地あり。残分は自費で引取る</p>

羽田空港へ行くのも、モノレールに乗るのも何と久し振りであろうか！レイホーの中には、初めてモノレールに乗る人もいたようです。羽田空港は広く、綺麗になっていたのが驚いた。早く着き過ぎたので、出発までの間朝食やら、ショッピングセンター等を見たりしながら、皆それぞれに時を過ごしていた。

いよいよ搭乗時間となり飛行機に乗れたと思いきや、ハプニングが発生した。何と搭乗チケットを自動改札に通さずに乗って来た人がレイホーの中にいたのです。（誰だかわかりますよね！）慌てて乗務員さんに話をして事なきを得ました。鹿児島空港までは1時間40分位のフライトのようです。直ぐに寝た人あり、おしゃべりをしている人ありと……。

やがて鹿児島空港に到着。空港のレストランで昼食。それぞれに注文するが、メニューに薩摩ビールがあり飲んでみる事にした。原料は紅薩摩との事。赤ワインのような色で、飲んでみると薩摩芋の味が少しした。不思議なビールであった。皆、ほろ酔い気分で屋久島への出発時間まで空港内を探索したようである。天気も良さそうなので50円支払い、送迎デッキへ出てみる事にした。其処からは高千穂岳や韓国(カクニ)岳等の山々を見る事ができた。又、登ってみたいとも思った。

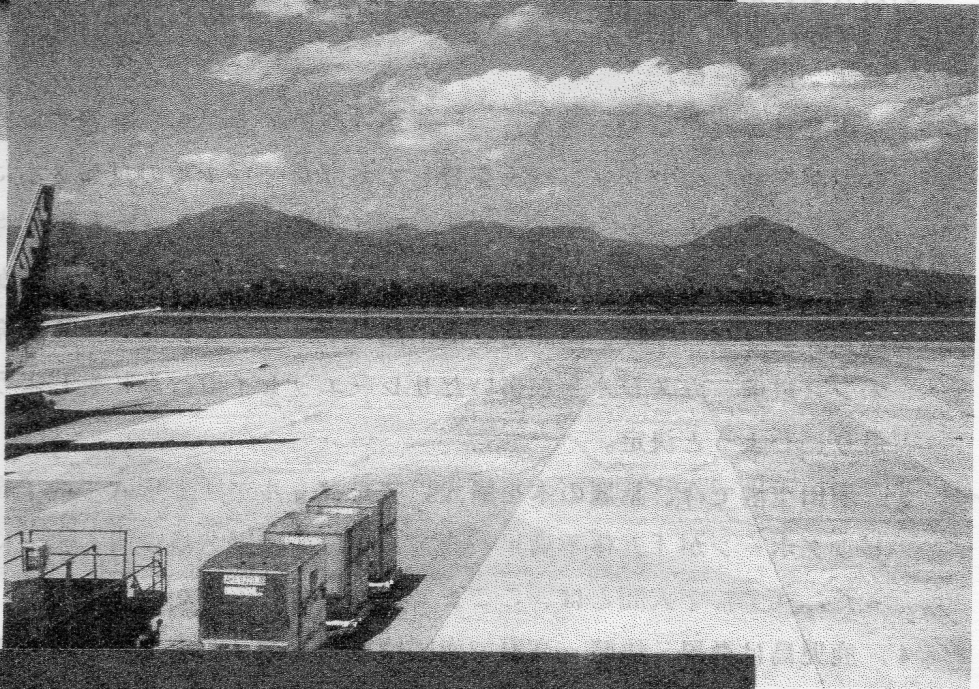
飛行機も今度はプロペラ機へと変わり、一路屋久島へと飛び立った。暫くすると眼下には岬の先端に一つだけ聳える山、富士山に良く似た開聞岳を見る事ができた。本当に美しかった。30分位のフライトではあるが、噴煙上げる硫黄島、口永良部島が微かに見えた。又、種子島も見ることができた。いよいよ私達の目的の屋久島が、一段と大きく見えてくると皆歓声をあげていた。

上空から見る屋久島は素晴らしく、又、とても美しく見えた。山々は一段と聳え立っているように感じた。緑の木々の中に見える大きな岩、また岩はどれも丸みがかかって見えた。どの山が宮ノ浦岳や、永田岳等なのか分からないが、明日から登る山なのだと思えば、登れるのか？歩けるのか？と不安が頭をかすめた。でも『皆と楽しい登山が出来るように頑張らなくちゃ』と、祈っているうちに屋久島空港に着陸した。

空港なのに飛行機は一機も見えない。ローカル色豊かな、のんびりとした田舎という感じがした。迎えのジャンボタクシーで旅館へ。途中、スタンドに寄りホワイトガソリンを買う。戸惑っている間に、事務所にあった飴等を頂いたという



1. 羽田空港の
 2. 荷物の積み込み
 3. 乗客の送迎
 4. 航空機の整備
 5. 航空機の発着
 6. 航空機の燃料補給
 7. 航空機の清掃
 8. 航空機の保安検査
 9. 航空機の乗降
 10. 航空機の整備



1. 羽田空港の
 2. 荷物の積み込み
 3. 乗客の送迎
 4. 航空機の整備
 5. 航空機の発着
 6. 航空機の燃料補給
 7. 航空機の清掃
 8. 航空機の保安検査
 9. 航空機の乗降
 10. 航空機の整備



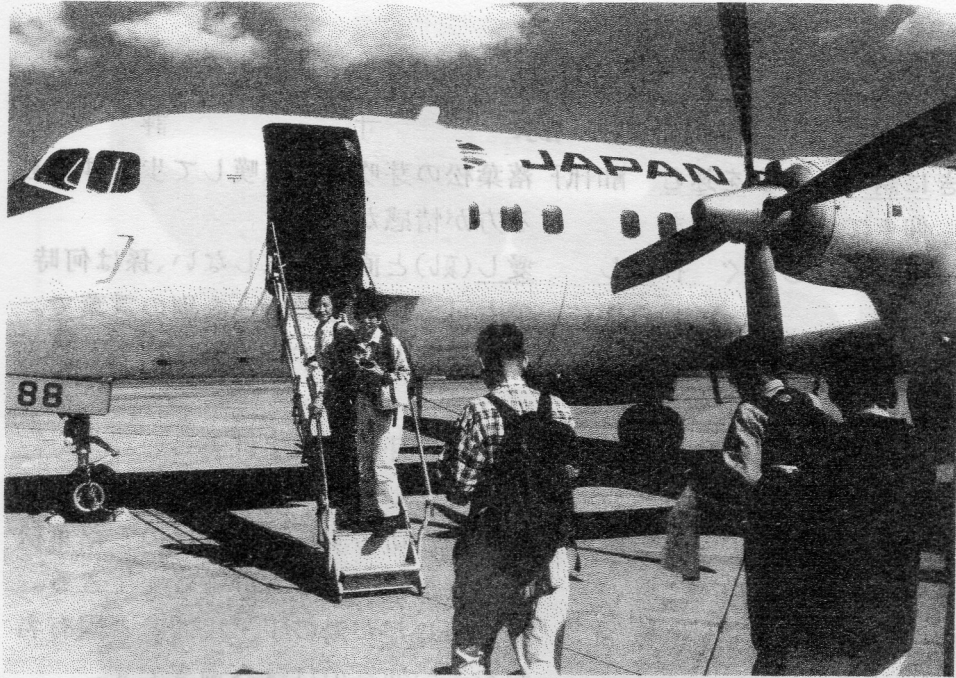
(上) 4/29 羽田
 空港
 (中) 鹿児島空港
 左・韓国岳
 がくに
 右・霧島岳
 (下) YS 11で
 屋久島に向

のか？失敬してきた？のか籠の中は空っぽに近かった。（皆、しっかりしています）

家も疎らな道路を走るが、道端には赤や黄等いろいろな花が咲いていて綺麗であった。運転手さんにコンビニがあるのか聞いて見ると、コンビニはないが『コンビニもどき』はあるとの事でした。暫くすると旅館に着いた。皆荷物の整理をし、明日への準備をした。夕食は明日から登る山の話で大いに盛り上がった。食卓には鹿児島名物の手作りの薩摩揚げが出ていた。美味しかったです。明朝早い為に、食事もそこそこに切上げ寝る事に。風呂は温泉ではなかったので、ちょっと残念でした。寝相の悪い人がいたり、『早くて寝れない』等、ブツブツ言っている人もいたが、そんな事はお構い無しに寝る事にする。お休みなさい。

（追記・後藤隆徳）

1. 出発日は北から寒気が入り、肌寒かったのでセーターを着ていく。ビッグホーンが半袖なのでジャンパーを貸してあげた。ウルルの旦那さんにシーラーカンス、ビッグホーン、アルコールを乗せて送ってもらった。縄文杉とウルルのお父さんの見送りを受けて出発。東京は雨が降っていてとても寒かった。（13℃）
2. モノレールの中に、開聞岳と池田湖のポスターをアルコールが発見。カメレオン（以前、カメレオンが書いたリレーエッセイの行為）をしようか迷ったが帰りにしようと決定。
3. 羽田空港で今、話題の本を購入。アルコールが「少年Aこの子を生んで・・・」ビッグホーンが「五体不満足」。アルコールは屋久島に着くまでに読んでしまった。「アア！人間とは、ここまで残酷になれるのか」と絶句。
4. 鹿児島は微風、快晴、高温で南国情緒たっぷり。空港から初めて眺める、噴煙あげる桜島に感動。結局この晴天は、この日から5日間続くことになる。
5. 初めて乗る「YS11」プロペラ機は、音と振動が大きくて怖かった。
6. 屋久島空港向かいのスタンドで、ホワイトガソリンを購入。1ℓ530円。
7. 今日の宿は空港から30分の安房（あんぼう）にある「かもめ荘」。アルパイン・ツアーの紹介だが、受付に女性はいるものの、ニコリともせず愛想はゼロ。夕食は期待していたのだが、粗末でガッカリした。調理室をチラッと覗くと、甘エビを冷凍パックから出している。「島」は物価と人の心が高いのだ。
8. 夕食前荷物の整理。軽い人で15kg、重い人で19kgだった。これに水筒が入る。この程度なら問題なし。
9. 夜中、同宿の男女数名が騒ぎ、うるさくて寝れなかった。朝食はひどい弁当でお茶もなし。この民宿は、過去経験した中でサイテーの宿だった。



(上) YS11に乗るカメオン・ラルル・公爵

(下) 屋久島上空からの山々、矢印が宮之浦岳か？

